



新津東部コミ協だより

ミニかわら版

1月15日号



●新津川おかえり☆灯りぷろじえくと5

会場の二小体育館は、子どもたちが思い思いの願いを込めた、約400個の灯ろうで彩られ、これまで以上の600名を超える多くの方々に楽しんで頂くことができました。

新津川おかえり☆ 灯りぷろじえくと5

新津川おかえり☆灯りぷろじえくと5は、令和五年十月二十九日の新津第二小学校の文化祭に併せて開催されました。

当日は、新津東保育園、新津カトリック幼稚園の園児たちの紙灯ろう、二小一・二年生の紙灯ろう、三年生の紙コップ灯ろう、四年生の枝灯ろう、五年生の吊るし灯ろう、六年生のミニサケ灯ろう、新津第五中学校美術部の壁灯ろうはじめ、これまでに制作したサケ灯ろう、約四百個の様々な灯ろうで会場の二小体育館は、幻想的な空間に演出されました。

このぷろじえくとは新津第二小学校、二小PTA、新津東部コミユニティ協議会が主催して行っています。

今回は、このぷろじえくとを継続することを目的に多くの方々に呼びかけワークショップを行い、実行委員会を結成しました。

障子紙を各種の灯ろうの大きさにあわせて切る作業やミニサケ灯ろうの土台づくりには、多くの地域のボランティアの方々に参加して頂きました。

また、ミニサケ灯ろうの設計や当日の体育館の飾りつけの監修は新潟大学の丹治先生、橋本先生にお願いして行いました。

点灯式には、長崎秋葉区区長をはじめ多くの方々のご臨席を頂き、秋葉区を拠点に世界で活躍する土田貴好さんにダンスパフォーマンスを披露してもらいました。

灯ろうの灯りで幻想的な雰囲気となった会場には例年を超える約六百名を超える方々にご来場頂くことができました。

終了後には、二小の先生方、地域の方々で、反省会を行いました。地域の方々や先生方が懇親する良い機会となったと同時に、今後このぷろじえくとを継続していく原動力になったと感じました。

次年度以降もおかえり☆灯りぷろじえくとを多くの方々と一緒に進めたいと願っております。

■東部コミ協は、「安全安心な地域社会づくり」「福祉活動の充実」「地域社会の交流」を当面の活動目標としています。

■地域の古紙収集活動で、得られる交付金が、東部コミ協の貴重な活動費の一部となっています。



新津第五中学校美術部「壁灯ろう」



ミニサケ灯ろう土台づくり



土田貴好さんのダンスパフォーマンス



新津川 おかえり☆灯り ぷろじえくと5



お知らせとお願い

●令和6年度より新津東部コミュニティ協議会会費を各世帯よりお願いすることになりました。

新津東部コミュニティ協議会 会費
1世帯 400円 (年間)

*会費は、自治・町内会を通じて、納入して頂くことになっておりますので、宜しくお願い申し上げます。

●これまでの経緯

東部コミ協では、これまで、皆さんにご協力頂いていた「地域の古紙収集活動」で得られた交付金(年間130~140万円程度)を活動費の一部としており、各世帯からの会費を頂いておりませんでした。しかし、新潟市の方針で、この交付金額が大幅に削減され、今後の活動費についての検討を常任委員会(各自治・町内会会長で構成)で行った結果、会費をお願いする案が出されました。

令和5年4月26日に行われた「令和5年度の代議員会」での決議を経て、令和6年度から開始することとなりました。

新津東部コミ協だより ミニかわら版

—令和6年1月15日号—

- 発行所：新津東部コミュニティ協議会
- 発行人：石澤 哲夫
- 事務局：新潟市秋葉区新津東町1丁目5番12号
新津地区勤労青少年ホーム内
TEL・FAX 0250-23-0780
- 編集：新津東部コミュニティ協議会 総務部
- 印刷：(株)トーヨービジネス

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年から、感染症対策の緩和により、徐々に各種のイベント等が行えるようになって来ております。

東部コミ協でも、「安全安心な地域社会づくり」「福祉活動の充実」「地域社会の交流」という活動目標を実現するために様々な活動等を行って行きたいと思っております。

多くの皆様方にご参加いただけるような行事・イベント等を行うことで、目標に少しでも近づければと願っております。

総務部 渡邊